



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 6. 8

No. 10

楽しい思い出いっぱいの自然教室

5月30日・31日に、5年生の自然教室が保呂羽山少年自然の家で行われました。5年生の子ども達は、この自然教室を心待ちにしていました。小学校生活で一番の思い出に上がるほど、この自然教室は人気があります。あの広大な自然の中で、思いっきり活動したり、ナイトハイクで怖い思いをしたりすることこそが、子ども達にとっては最上の喜びなのでしょう。

一日目の主な活動は、出会いの集い、プロジェクトアドベンチャー、ちょうちん作り、野外炊飯、ナイトハイク、二日目は、カヌー体験でした。



自然いっぱいの「森の講堂」で行われた「出会いのつどい」



カラ松林の中で



保呂羽山に行くとき、バスで景色を見ていきました。自然いっぱい、とてもおどろきました。鳥の声がいっぱい聞こえて、いっぱい鳥がいるんだなと思いました。最初、どうすればいいか不安でした。でも、だんだんなれてきて、保呂羽山は楽しいなと思いました。

保呂羽山に行ってから、みんなと協力することが多くなりました。みんなと協力してクリアした達成感が気持ちいいなと思いました。保呂羽にもう一度行ってみたいなと思いました。



私はほろわんぱーく（保呂羽山少年自然の家）に行ってきました。保呂羽山での活動は、PA（プロジェクトアドベンチャー）など、様々な活動を二日間で行いました。ねて、おとまりをする部屋も広くて過ごしやすかった二日間でした。

1日目はPA、野外炊飯、ナイトハイクの三つの主な活動をしました。1回目の活動・PAはたくさんの友だちと交流しました。2回目の活動・野外炊飯では、みんなと協力して作る大切さを学びました。3回目の活動・ナイトハイクは、みんなではげましました。みんなと協力し、仲を深めた二日間でした。



それぞれが作成した新聞から

「楽しかったカヌー」

保呂羽自然教室の二日目にカヌーをやりました。保呂羽のスタッフの方は、最初はこわいけれど、後からなれてくると言っていました。

「最高！野外炊飯」

一日目の夜ごはんは、自分たちでカレーを作りました。給食のカレーや家のカレーもおいしいけれど、自分たちで作ったカレーは、また一味ちがうおいしさがありました。またきかいがあったら、野外炊飯したいです。

「ワクワク ナイトハイク」

一日目のしめくくりのナイトハイクは、三本しかマッチがなくて心細かったけれど、無事にゴールできたのでよかったです。夜なので、まるできもだめしのようでした。

「思い出に残った保呂羽山」

8時20分、学校を出て保呂羽の旅に出た。出会いのつどいでは、歌を大きな声で歌い、山にひびかせた。PAでは、ジャイアントシーソーで、AとBで協力してクリアできたので、うれしかった。

「ドキドキびっくりナイトハイク」

6時50分、夜が近づいてくる。ぼくの班は8番目に出発した。ぼくらの班の順番が近づいて来た。ではスタート。先生はガチでびっくりさせて、悲鳴をあげた。ぶじ到着して、安全に行けた。

「楽しくワクワクしたカヌー」

二日目スタート。朝ご飯の後にカヌーが始まった。カヌー場へ20分間くらい歩いて行った。カヌー場へとう着。そして、ぼくの番がきた。ぼくは一番はじっこまで行きました。そこで問題。「今年の5年生は、何人ぬまに落ちたでしょうか？」



野外炊飯の様子 「おいしいご飯ができたかな？」



おいしいカレーをみんなで一緒に食べました。



個人の新聞の社説（まとめ）から

今回の自然教室では、きちょうな体験がたくさんできたので、とても楽しかったです。また、大自然の中で活動できたのも良かったです。このような活動がでているのも、たくさんの人が協力してくれたからだと思います。

この体験は、とても良かったと思います。「協力」や、声のかけ合いなどで、成功することが当たり前だと思い、生活の中でも生かしたいと思いました。

親野智加等（おやのちから）氏による「親力アップ講座」（6月3日実施）から

■苦手な事に目をつむれば子どもは伸びる

誰にも先天的な資質というものがあります。その子の向き不向きを良く見て、向いている方面で伸ばすことが大切です。同時に、苦手な事には、ぼつちり目をつむって上げる勇気も必要です。マイペースでのんびりな子を叱り続けても、生まれつきのリズムを変えることはできません。マイペースな子は穏やかで優しい事が多いので、それで良しとしてください。私の経験では、片付けの上手・下手もほとんど生まれつきです。でも、片付けが下手な子ほど、クリエイティブな事が多いので、それで良しとしてください。苦手なことを直そうと叱り続けても、まず直りませんし、「自己肯定感がなくなる」「親の愛情不足を感じる」などの弊害が出るだけです。